

支部だより

平成16年10月28日

第 4 号

発行人 大歯科同窓会
九州歯科大学
大阪府同窓会

山本克彦

〒590-0012
堺市浅香山町2-2-17
TEL 072-233-2746
FAX 072-228-6251



会長挨拶

九州歯科大学 大阪府同窓会

会長 山本克彦

大阪府同窓会は平成十五年度より、鳥羽英紀先生（大15期）がご退任され、山本克彦（大19期）が後任となりました。そこでご挨拶代わりに簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和四十六年に九州歯科大学を卒業しました。無歯科医村に行く気持ちではなく、かといって悪徳歯科医にもなりきれず、なんとなく大阪大学大学院にやってみりました。研究テーマは「エナメル質と象牙質の形成と石灰化」でしたが、今ではエナメル質と象牙質を削りまくって糧を得ている始末です。阪大での三年間は正に遊学でした。歯科界黄金時代を国家公務員で過ごして

しまった、時代の先を読めない私は父の元で歯科医院を手伝うことになりました。小金をもった私は「夜の世界」へどっぶりつかっておりました。「朝不調、昼まあまあで、夜元気」でした。現在「南新地大学の助教授」に昇任し、後進の指導にあたっております。昨年中国の三峡下りに行った時、豊都の鬼城で「夜遊神」にお会いしました。私の末路の姿でしょう。「濡れ落ち葉、家族に干されて、枯れ落ち葉」の私ですが、よりよい同窓会作りには半身半霊を傾ける所存ですので、よろしくご指導とご協力をお願い申し上げます。新執行部の最重点事項として同



窓会未入会者対策に取り組みたいと考えております。旧六校の伝統に輝く我が九州歯科大学が九大や福歯大と混同されている現状を打破するためには、個性的で魅力ある同窓会活動を展開せねばなりません。その基礎には会員数の増強が必須となります。最初の具体案として、八月二十二日に関西出身の五年と六年の在学生を招き、懇談会を催すことになりました。また大阪府同窓会は昭和十二年五月二十三日に支部として承認されました。同時に鹿児島、東京、大分、沖縄、若戸、八幡、小倉と中国の大連支部が誕生しました。地盤沈下傾向にある大阪府同窓会を復活させるために、平成十九年に設立七十周年の記念事業を企画しています。

独立行政法人化の嵐にもまれる母校をささえ、その発展と歯学の向上、同窓会員の福祉、親睦に力を注いでいきたいと考えています。

今年はおリンピックイヤー、今世紀最初のオリンピックの年でした。

特に日本の若い選手やジュニアの活躍が目立ちました。その活躍に拍手された方も多いのではないのでしょうか？

カエルの子はカエルなんでしょか？世代交代が自然になされているようですが、次の世代に残していくほうも受け継いでいくほうも大変なようです。ひるがえってわれわれ業界にとっては、今年はじめから続く騒動がいよいよ最終段階にさしかかっているようです。この拙文が皆様の目に触れるときには一定の結論が出ているのかもしれない。

子孫に美田は残さずとも、次の世代にも魅力ある業界でありつづけるため、母校、同窓の活躍を祈念し、共に頑張ろうではありませんか！！



花三春

平成十六年

社保講習会・新年会

日時 平成16年1月18日(日)

午後3時

場所 鳥よし

新年恒例の社保講習会には、二十九名の先生が参加されました。

大阪府歯科医師会常務理事（医療保険担当）の近森信人先生をご多忙の中講師としてお迎え致しました。

「か初診」算定においては、計画をカルテに記載し、パノラマなどの検査結果もきつちりと記録するようにとお話がありました。又、二回目のSRPを積極的に活用するようになど、歯周治療をテーマに詳しくお話し頂きました。難解なテーマにもかかわらず、身振り手振りを交え間にジョークをはさんでの講演は、会員の先生方にもわかりやすく、患者増、点数増の大きなヒントになりました。

講習会の後は、五時より、三名の先生を加えて、これも恒例の新年懇親会が始まりました。青木修一先生の司会の元、近森先生も参加いただき、新入会員の自己紹介や各会員の近況報告などが続き、あつという間に時間が過ぎて行きました。来年もよろしくお願い致します。

(大29 長崎 林太郎)



平成十五年度 支部定時総会

日時 平成16年5月30日(日) 午後3時
場所 ハートンホテル心斎橋 別館

今年は、鳥よしから会場が変更になった。ここは「♡んホテル」とも言われ、愛情あふれる都会の隠れ家みたいな所で、大阪の同窓会を開くのにぴったりだ。

山本会長の挨拶に続き、朝倉由純先生(大1)が議長に選出され総会が行われた。



議題は、

平成15年度一般会計収支決算、弔慰金積立決算書に関し承認を求めむる件。監査報告。

平成16年度事業計画案に関し承認を求むる件。平成16年度予算に関し承認を求むる件。

全て承認される。

長崎専務より会務報告、戸倉良樹先生より評議員会報告があり、主な報告は以下の通り(括弧内は

担当責任者)。

1 本部役員等の就任

理事：戸倉良樹先生(大19)

未入会者対策臨時委員会委員

：山本克彦先生(大19)

沿革史編纂臨時委員会委員

：岡北武俊先生(大26)

2 同窓会未入会者対策委員会

(阪上安輝先生)を立ち上げ入

会促進を図る。

3 大阪府同窓会の会則を見直す

ため、会則検討委員会(谷泰雄

先生)の活動を始める。

4 第50回近畿北陸地区連合会総

会が平成17年に大阪府の担当で



行われることになった(村尾平三郎先生)。

5 昭和12年に設立された大阪府

同窓会が、平成19年で70周年を

迎えることとなり、周年事業(岡

谷親男先生)を行うことを決定。



午後4時からは学術講演会が、

『効率的な歯内治療を求めて』と

題し、新進気鋭の九州歯科大学保

存学第一講座助手の北村知昭先生

を講師として迎え行われた。根管

治療の勘どころは根管拡大にあり、

効率的に拡大する方法をわかり易

く説明して頂き、根管清掃の重要

性も教えてもらった。先輩の先生

からは、「わしらの頃に、こんな

先生が居たらなく。」と、ため

息が漏れる程だった。

続いて懇親会が行われ、最近増

えてきた若手の先生も交えて楽し

いひとときを過ごした。

(大29 青木 修一)

委員会等

報告

会員のために取り組んで頂いて
います各種委員会の責任者の先生
方に、八月現在の動向をおうかが
いしてみました。皆様方も、御協
力の程お願い申し上げます。

【未入会者対策委員会】

阪上安輝

委員 山本克彦・岡谷親男

長崎三男・東 昭平

岡田克也・山上啓介

阪上安輝

九歯大には初め、未入会者は個人
の都合で会費を払っていない人が
いる以外、存在しないと思って
いました。ところが、山本会長か
ら未入会者と未登録者なるものが
あり、その両方を合わせると我が
大阪では相当数に上るとのことに
聞かされました。

未入会者とは、大学の入学或い

は卒業の時同窓会への入会金を払
っていない人で、未登録者とは、

入会金を払って入会はしているも
の、その後毎年の会費を払わず

にいるため、同窓会との繋がりが
切れている人を言います。そこで

大阪府同窓会では、せめて未登録
者を減らすべく立ち上がることに
しました。

大阪府同窓会としては、入会者

には親睦以外に共済、医療保険乃
至は学術に関する情報提供等、出
来る限りのことをしたいと思っ

ています。親睦に関しては、日頃の
孤独な診療の中、起こってくる悩

みを少しでも晴らすことが出来る
のではと思いますし、医療保険や

学術については、講師を招聘して、
日頃疑問に思っていることや、不

確かな理論を解消して戴けたらと
思います。

尚、大阪府を北部、東部、南部
及び大阪市北部、南部の五つの地

域に分けて、出来る限り対象者と
密にコンタクトを取ることで、一

人でも入会者を増やしたいと思っ
ていますので、御協力の程、宜し

くお願い致します。

【会則検討委員会】

谷 泰 雄

現行の会則は昭和56年4月より

適用（施行）されていて、この間
昭和58年、59年と平成4年に一部
改正されている。

今回の見直しでは、実際の運用
に則したものにしたい。特に会員

区分と各会員の義務と権利につい
て明文化したい。また、慶弔見舞

金規程の運用についても再検討し
たいと思っている。

もちろん、大阪府支部規程なの
で、九州歯科大学同窓会本部の会

則に連動するものでなければなら
ないし、只今ほかの委員会では検

討して頂いている運用方法とも合致
して頂いてほしい。特に未入

会者対策と大いにリンクしている。
以上のことを中心に問題点のピ

ックアップはほぼ終了しています。
当委員会としては、年内を目途に

会長並びに役員会に答申できるよ
う議論を進めていきたい。

（委員会のメンバー）

Dr 西本・中林・大形・松島・谷

九州歯科大学大阪府同窓会設立七十周年記念事業について

岡 谷 親 男

昭和十二年、同窓会
本部にて大阪府同窓会
設立が認められ、今年
で六十七年になります。
三年後には九州歯科
大学大阪府同窓会設立
七十周年を迎えるにあ
たり、盛大に記念式典
を開催しようと考えて
おります。

全国二十九歯科大学、
歯学部があるなかで、
都道府県単位で同窓会
設立七十周年を迎えるこ
とができる事は、改め
て伝統の重み、結末の
強さを痛感いたします。
まだ三年先の事柄なの
で具体的には何一つ決
めておりませんが、大
阪府同窓会始まって以
来の事業ですのでよき
アドバイスをいただけ
ば幸いです。その節は
同窓先生方の協力の程
宜しくお願い致します。
副委員長には、長崎
三男先生をお願いして
います。

【平成十七年度
近北総会準備委員会について】

村 尾 平三郎

準備委員会は開いておりませんので、まだ具体的な確定事項はありませんが、大概の方向としまして次の様になっております。

日時は平成17年6月18日（土曜日）近辺。場所は難波、心斎橋近辺のホテル。講演にしましては縮小の年度にも当たりますので、九歯大OB、できれば学内若手研究者を検討しております。

準備委員としまして長崎三男、青木修一両先生になっていただき具体的に準備していく予定であります。

【会員互助機構について】

岡 谷 親 男

前回発行の支部便りに掲載いたしましたのが、今一度主旨を掲載いたします。

「一般会員に、疾病、不慮の事故等にて入院加療の必要が発生し

た場合で、診療不能となった時、その会員、家族の希望により、大阪府同窓会会員相互に互助する精神に則り、患者や地域歯科医療への影響をできるだけ少なくしようとするものである。また、必要な期間常勤できる代診の先生を探す機能も果たす。」

前回（二〇〇一年八月）この主旨に賛同、協力していただける先生方を募りましたところ、「行ける12名」「条件が合えば行ける29名」計41名の先生方の賛同をいただき、伝統ある九州歯科大学同窓会の結束の強さに感動いたしました。今回新たにこの主旨に賛同していただける先生がございましたら、担当者までお知らせください。幸いにも、この機構発足以来、実際に機能するにいたる大きな疾病、事故が無く現在にいたっております。実際に稼働すれば多くの問題点が出てくるでしょうが、臨機応変に対処したいと考えております。

担当者は、岡谷親男、谷 泰雄、加藤 聡、東 昭平（敬称略）の四名です。もしこの機構稼働する必要が生じた時は、担当者にご一報ください。

平成15・16年度
役員紹介

会 長

山本 克彦（大19）

副 会 長

村尾 平三郎（大22）

岡谷 親男（大27）

専務理事

長崎 三男（大29）

常務理事

阪上 安輝（大21）

宮尾 俊広（大22）

会計理事

大形 篤広（大33）

学術理事

宇野 一雄（大29）

青木 修一（大29）

加藤 聡（大33）

社保理事

長崎 林太郎（大29）

谷 泰雄（大31）

福祉理事

松本 元秀（大24）

岡北 武俊（大26）

組織理事

東 昭平（大38）

岡田 克也（大38）

山上 啓介（大46）

庶務理事

西本 達哉（大28）

黒澤 治彦（大30）

モニター

青木 修一（大29）

広報理事

下出一 夫（大29）

上崎 秀美（大29）

中林 弘行（大34）

監 事

古庄 列（大7）

丸山 輝幹（大14）

相談役

崎田 道臣（県3）

堀之内 藤彦（県5）

松本 泰雄（大9）

鳥羽 英紀（大15）

戸倉 良樹（大19）

小野 善弘（大20）

赤尾 英夫（大23）



会員だより

平山 稔先生を偲んで

県立5回

堀之内 藤彦



今回は、一月に御逝去された平山 稔先生（専17）への追悼の文を堀之内先生に、入会してまだ新しい楠元先生（大39）に近況の御報告などをお願いさせて頂きました。



平成16年1月14日、大先輩平山稔先生が御逝去されました。86才でした。古き時代から現代を知る先生が又一人少なくなりました。先生を失った事は痛恨の極みで惜別の情に耐えられません。あの殺しても死なないと思われるような頑健な体の先生もガンには勝てませんでした。平成15年1月の新年会に「君が行くなら行きたい」とお電話を頂きまだお元氣そうでしたが足腰は大部衰えを感じました。新年会で乾杯の発声をされたのが最後となりました。平成8年9月発行大阪広報2号に投稿された「80才を考える」の中で検査の結果、

膀胱にポリープを発見と記されましたが、前立腺の手術の後も全身に転移したのでしょうか。先生は博学で趣味も広く、演歌も上手で黒田節、無法松の一生等が十八番でした。スポーツは万能で各種の表彰を受けられ、昭和41年10月に体育功労の文部大臣表彰を受けられました。今では各界、大臣表彰は余り気にも留りませんが、当時は祝典もありました。

先生は鹿児島出身で、昭和11年台北州立方一中学校卒、昭和16年3月九州歯科医学専門学校卒、昭和17年1月軍隊入隊、昭和25年豊中市服部に歯科医院開設、昭和25年8月国立刀根山病院勤務、昭和45年4月病院退職、歯科医院専念、昭和35年医学博士（九州大学）授与、が略歴です。

先生はいつもユーモアで周りの者を笑いの渦に巻き込んで、お酒が入ると女性の話題が始めると台湾や韓国での話題が得意でした。

反面、同窓の事では何でも知っ

ており、何でもやらねば気の済まない方で、中心的でなければならぬとも見えませんでした。

昼頃電話で「オイ、堀之内、今夜七時から家で役員会をやるから中村にもそう言って来てくれ」とか「大学の教授が大阪歯科大学に来るから明日伊丹に行つて案内してくれ、夜は梅田で食事をするから」こんなことは度々の事で、唯今の役員さんには考えられない事だと思えます。後に古庄先生も役員に入つて来られた。色々な事を経験され、昔と現代の違いを知つて頂けると思います。

役員会の後は豊中からの帰り道、阪急の十三、南のアルサロ、キャバレーに同行しました。先生には素晴らしい無形の財産と感銘を与えて頂きました。

近畿北陸連合会会長には生き甲斐を感じておられたようで、ご挨拶の初めには必ずジェーン台風等で被害を受けた同窓をお助けするために、云々と云つて居られました。先生は永年同窓会本部の副会

長に就任され、木造校舎病院の改築に、又講堂の新築等には努力され、支部では吾々数少ない役員が寄付金を集めに叱咤激励されながら、各先輩の先生方を訪問して寄付金集めに廻りました。平山稔先生は、何事も一生懸命で滋味に溢れ、何でも相談に応じて下さいました。九州人としての生き方が反対、不満な御意見をお持ちの先輩の先生の中には多数あったのも事実で、現在でもそう云っておられる先輩もあります。色々書いて平山先生の追悼文にならなかったかも知れませんが、50年来のお付き合いで思い出した事を書きました。昨年10月九歯大同窓会沿革史編纂の原稿取材に豊中服部の御自宅に行きましたが資料は全然無く、少し物忘れも出て、歩けないとも云っておられました。

10月28日先生からお電話を頂いて、11月4日に豊中市民病院に入院、レントゲン検査の結果次第では、一ヶ月位入院するだろうとの事で、これが最後のお声でした。12月30日に電話してみましたら奥さんから、食道ガンで何も食べられずアイスクリームを食べていると聞きました。あれから半月後に亡くなられました。先生にはお二人の御息が先生の御遺徳を受けられ、先生を追い越す程に成長され、御長男は、いつも先生の御自慢の種でした。薬効奏せず帰らぬ人となられました稔先生の御冥福と御遺族の御多幸をお祈りして追悼の辞と致します。

平成16年9月25日

合 掌



京大口腔外科の紹介

大学39期

楠 元 貴 司



今回、私のような新入会員に原稿を書く機会を与えていただきありがとうございます。何を書こうかと考えておりましたが、私の場合、開業までの十一年間口腔外科を専門に頑張ってきましたので、私の体験を中心に京大医学部口腔外科の紹介をさせていただきます。

私がいた頃は、教官は教授から助手まで十名で、九歯大OBは藤田先生（現・和歌山医科大学教授）、横江先生（現・洛和会音羽病院京都口腔健康センター長）と私の三名がおりました。あと、医員、研修医が十名程度で、これら

のスタッフで外来と病棟を行っておりました。九歯大からは毎年一名程度、研修医が入局しておりました。

まず特徴的なのは、色んな大学の寄せ集めで学閥もなく、細かく専門領域でグループ化してないの、やりたいことが自由に出来るオールラウンドに経験出来ることです。また、歴史が古いため患者数も多く、特に顎関節症、顎変形症、腫瘍、インプラントは専門外来まであります。医学部口腔外科なので術前矯正やインプラント補綴も自分でやらなければならず、貴重な経験が沢山できて、開業してから役にたっております。

研修医は病棟を中心に研修し、休日もなく働かなければなりません。私も最初は薬も検査も知らず、採血や点滴も出来ずに看護師にもなめられ、知識の無さと自分の立場の低さを思い知り、早く一人前になるため学生時代とは比べものにならないくらい勉強しました。研修医としての内科的な知識や技

術の習得は、これからの歯科医には絶対に必要なものだと思います。

次に特徴的なのは関連病院が二十数ヶ所あり、二年目から三年目になると赴任しなければなりません。私も三年目から滋賀県の市立長浜病院に四年間赴任しました。赴任病院では口腔外科だけでなく歯科治療もしなければならず、なんとか歯科全般の治療ができるようになっていきます。また、大学では他科の先生との交流があまり無いですが、医局が同じこともあり、他科の先生と親しくなれます。私も医者の方が増えたのは大きな財産です。

開業して二年が過ぎましたが、私にとっては京大での経験が毎日の診療に大変生かされております。今後、大学などでの研修が義務化されますが、まずまずの高齢化社会で内科的疾患を持った患者さんも増加し、口腔外科での研修はたとえ開業医を目指す先生にも大変有用だと思えます。

最後に、同窓会の先生方で口腔

外科の事でお困りの事があれば、遠慮なく御相談ください。微力ですが同窓会の先生方の少しでもお役に立てれば嬉しく思います。



平成15・16年度 会員 訃報

平成15年7月4日

専門18回の岡 貞夫先生(大学19期 岡 幸宏先生の御尊父)

平成16年1月14日

専門17回の平山 稔先生(大学25期 平山 洋先生の御尊父)

二名の先生が御逝去されました。心より御冥福をお祈り申し上げます。

編集 後記

協力によってこの大プロジェクトを成功させましょう。

未入会者対策・会則検討・会員

互助機構などの各委員会の発足は非常に大切な改革に向けた転機となりうると思えます。

鳥羽先生から山本先生へ受け継がれた九州歯科大学大阪府同窓会も時代の流れに沿って様々な変化を遂げていくのでしょうか。

今回、御多忙にもかかわらず原

稿をお寄せいただきました先生方、編集作業に御協力いただきました先生方に対し御礼申し上げます。

今後も支部だよりに皆様の忍耐強い御支援をお願い致します。

(広報担当理事)

小泉首相になって「痛みを伴う改革(改悪)」が行われ、その上、日歯連盟元会長の不祥事で、我々歯科界を取り巻く環境は厳しさを増し、次回の点数アップも望めません。追い打ちをかけるような異常気象(猛暑)で患者は減少、毎日大変です。

大阪府同窓会設立七十周年記念事業並びに近畿・北陸地区連合会の大阪での開催と大プロジェクトが目白押しです。準備委員会の先生方の御苦勞に感謝いたします。会員先生方の一致団結の精神と御